

その他の電気設備を起因物（小）とする死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	業種 (小)	事故の型	労働者規模
2017	1	12~13	検査室内において、製品の電気漏れ確認のため機器（絶縁耐圧絶縁抵抗計）を設定していたとき、output側から垂らしていたリード線のワニ口クリップに右拇指が接触した際に感電し、右拇指から肩にかけて負傷した。	47	11403	13	—
2017	2	14~15	売場レジにてチェックアウト業務を行っている時、お客様が持ってきたショッピングカート下段に入っていた350ml缶のビールケース（レジ右側）をしゃがんで両手で持ち、レジ中央部のスキャナーに持ち上げようとした。この時、以前から鈍痛を感じていた左肩に強い痛みを感じた。痛みに耐え業務を終えたが、痛みが増してきたので店員に報告した。	36	10801	13	100~299
2017	3	16~17	自社作業所内で、シャッターケースの組立作業をしていた際、配線カバーにつまずき左足を捻った。	27	11209	19	10~29
2017	4	10~11	冷蔵庫の外枠を寝かせた状態で天面部分に庫内とドアをつなぐ線を取り付ける作業工程でラインスピードに追われることが多く、その工程先に内箱挿入機（設備）のスイッチボックスの角にスタッフの背中が何度か衝突していた。当初は作業姿勢による筋肉痛だと思っただが、痛みが治まらなかった。	40	170101	3	300~499
		9~	事業所の資材置き場にて、現場工場が無いので資材の片付け作業を				

2017	6	10	していたところ、立てかけたブロックが倒れてきて、右足に当たり打撲した。足を引き抜いた際に裂傷を負った。	23	11409	4	—
2017	6	10～11	お客様宅で掃除中、電気コードに足が引っかかり転倒し、左足首を捻ってしまった。	76	130201	2	30～49
2017	7	9～10	会社倉庫入口の扉（重さ約130kgの鉄製板製）を塗装修理するため、レールからはずし、下に角材を入れて、3人でゆっくり扉を下に降ろす作業をしていた時、途中でバランスが崩れ、すぐ離れるような声をかけられたが間に合わず、左足の甲に落ち、ヒビが入った。	57	170209	8	30～49
2017	7	18～19	イベント終了後、作業員が解体を始めステージトラス上で電飾付きパネルを撤去中に配線用ケーブルを持ち、吊りワイヤーを切断したところ、コネクタより機材本体が外れステージ上に電飾付パネルが落下し、機材が破損し飛散した一部がステージ裏下で作業していた作業員のヘルメット頭頂部にあたり負傷した。	20	30209	4	1～9
2017	7	11～12	店舗更衣室に設置されている冷凍庫がエラー表示になっていたため、冷凍庫上部に右手をかけて天井のコンセントを抜いた際、バランスを崩しステンレス部分で右手薬指の第2関節部を切った。	35	140201	8	10～29
2017	7	15～16	機械の工場内にて、1人で防霜ファン（約30kg）の作動確認中、しゃがんだ姿勢で、羽根を取った防霜ファンの回転及び首振り状態を見ていた際、防霜ファンが左側に倒れそうになったので、思わず左手（手袋装着）で止めようとしたところ、回転中のシャフトを触ってしまい左手を捻った。そのときは痛みも少なく、そのまま仕事を続けたが、帰宅後に痛みがひどくなったため受診したところ、左手示指の筋が切れていた。	63	80209	7	1～9
2017	10	10～11	当該事業所において昼食の味噌汁を配膳車に盛り込みしていたところ、頭上にあつた配膳車の電源ケース（4kg）が落下し、おでこ・頭部を打撲、首をむち打ちしてしまった。	59	80209	4	10～29
			水産現場内でロータリー包装機清掃作業時、機械内に残った袋を取				

2017	10	13～ 14	り除く為、黒い配線パイプを跨いだ状態を取り除き、右足を戻そうとしたところ、黒い配線パイプに右足が引っ掛かり、バランスを崩して転倒した。その際、左手首を床に着いて被災した。	59	10101	2	100 ～ 299
2017	10	17～ 18	経理部内にて、パソコンでの入力業務を終え、自分の席に戻ろうとしたところ、コンセントカバーに躓き、右手で持っていたカートごと転倒した。	62	80201	2	500 ～ 999
2017	11	11～ 12	訪問入浴介護サービスにて、お客様宅駐車場で準備作業中、排水のモーターを持ち上げ、右手を持ったまま台から下に降ろそうとした際に、手首が引っ張られた感じで違和感があり負傷した。その後痛みが出て来て病院へ受診した。（右手首炎症）	39	130201	19	1～ 9
2017	12	9～10	自社工場内倉庫において、照明スイッチを押した後、振り返りざまにバランスを崩してふらつき、その際、保管してあった工業用扇風機の脚につまずき、右手を挙げた状態のまま転倒し、右肩を強打した。（倉庫奥の作業用品をとりに行く途中だった。）	59	11209	2	10 ～ 29
2017	12	17～18	厨房にて、フード（換気扇）のメンテナンスをしていた際、フライヤーの上に厚さ1cm程の厚板をのせて、その上に立ってメンテをしていたところ、突然板が割れてしまった。その際、まだ熱かったフライヤーに左足が入り、踝を火傷した。	16	140201	11	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html